

# なきごえ



1980

2

大阪市  
天王寺動物園協会

## 動物と私

宇仁茂彦



昨年秋から、我々の動物室に一匹の小さなカニクイザルを飼っている。このサルは一般の家庭でペットとして飼われていたが、病気になる世話をしきれず、研究用に持って来

られたものである。

私は仕事(寄生虫学)の関係で、色々の動物の解剖に接する機会がある。最近では、ヒトの寄生虫(回虫など)はほとんど見られなくなったが、動物(犬、猫、ヘビ、小鳥など)にはまだ多く寄生している。この動物の寄生虫がヒトに寄生することがあり、また逆のことも起こる。このような関係を調べるために、色々の動物を使って実験を行なっている。ヒトの代わりとしてサルを使うこともある。

ところで、このサルはもともとあまり元気ではなく、なにかと面倒な世話をしなければならなかった。しかし、かえって色々な事を考えさせてくれた。最初、尾はひどい凍傷のために折れ曲がり、そこからいつも出血をしていた。それを治療する時には痛さに耐え、じっとしている。思い切ってその尾を切断することにした。それ以後かなり元気になったので、飼育も簡単にし、ビスケットと水に変え、実験準備に入った。すでに冬に入り、室温もかなり低くなってきた。ところがサルの動きがどことなく鈍くなり、時々高い台の上でよろけるようになる。ついに腰が立たなくなり床板の上をはうまでに弱ってしまった。動物園の先生に見ていただき、ブドウ糖とビタミン剤の注射が打たれ、好物のバナナを与えたりしたが、あまり良くならない。ある寒い朝のことであった。部屋に入ると、すっかり冷え込み(パネルヒーター

### なきごえ2月号もくじ

動物と私 .....	2
“キングペンギン入園” .....	3
動物園グラフ .....	4・5
北米のZOOをかけめぐって .....	6・7・8・9
獣医室から ②④ .....	10
動物園ニュース .....	11

のコードをケージに引き込み、コンセントからはずしている)、サルはほとんど動かない。私は一瞬胸が痛くなるのを覚えた。何とか目は開けている。バナナの皮をむき、ビタミン剤のシロップをぬり、口に入れてやる。弱り切ったその様子を見ながら、どうしてこのような運命をたどることになってしまったのか、森林をかけめぐる楽しみも、また仲間との遊びも全く知らずに、このままその一生を閉じて行かねばならない……。私には彼が何かを我々に語りかけているように思えてならなかった。牛乳を暖めて与えたり、室温を上げたりしているうちに、数日後しだいに回復してきた。今頃は1日に牛乳1本、バナナ2本、ミカン2コ、ビスケット少々を与えている。元気な様子を見るとホッとする。正月から“しん(申)ちゃん”と名づけた。呼ぶと“グルルッ”と小さな声で鳴く。牛乳を飲んだ後、きまって床板の上をころがり、白い腹をこちらに向け、手でかくまねをする。私が指でなでると喜んでじっとしている。家族の者に話すと、家でペットにしたいと言うが、私はあまり賛成できない。なぜなら、“申ちゃん”の糞便を顕微鏡で調べると糞線虫という寄生虫の幼虫が多数動いていたからである。この虫は直接ヒトの皮膚から感染することが報告されている。適当な設備のないところでは、衛生的に、正しく管理できず、結局両者にとって好ましくない結果になる。

ともあれ“申ちゃん”に対する私の愛情は日増しにつのり、サルを実験台として用いる最初の計画は大きく方向転換へと向いそうである。しかし仕事のことを考え、また“申ちゃん”のことを思う時、研究者としてのつらさもふと感じるのである。

(写真：“申ちゃん”と共に。)

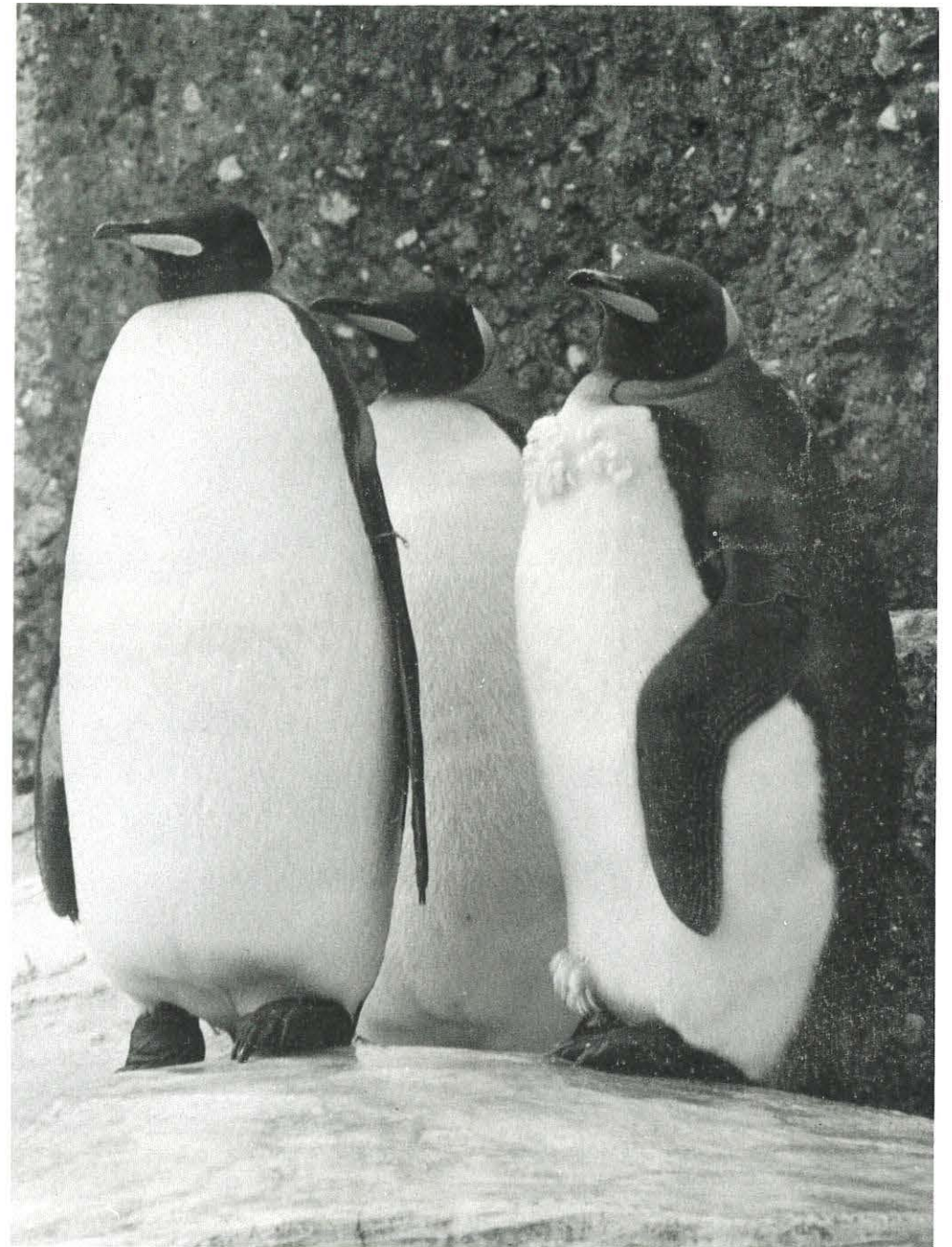
(大阪市立大学 医学部 医動物学教室 助手、医博)

### 表紙の写真説明

“ハナジロゲノン”

アフリカに分布する尾の長い美しいサルで、鼻のまわりがハート形に白いところから、この名がついています。ハナジロゲノンにはいくつかの亜種がありますが、当園のものはアカオザルとよばれるものです。

(撮影：宮下 実)

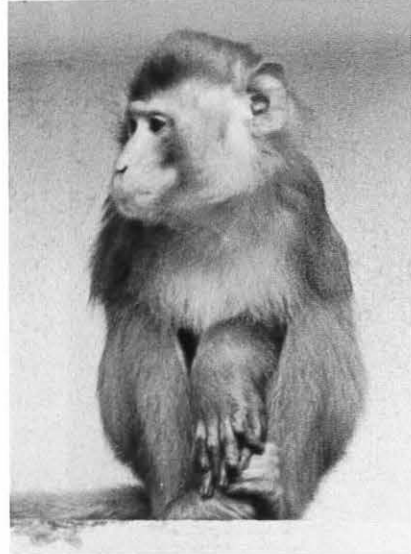


### “キングペンギン入園”

2月5日、キングペンギンが3羽新着し、以前からいる1羽とあわせ計4羽になりました。ペンギンプールに収容している他の6種類のペンギンと比べひととき大きいため、ペンギンプールも一段とにぎやかになりました。

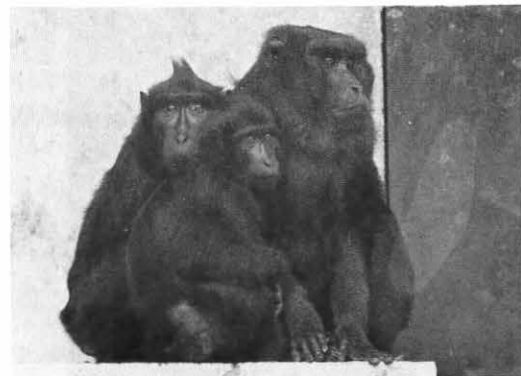
(撮影：宮下 実)

# 動物園グラフ



アカゲザル

インド、東南アジア、中国に住むサルで、医学実験にも広く利用されています。人の血液型のRh型は、このサルの英名からとったものです。



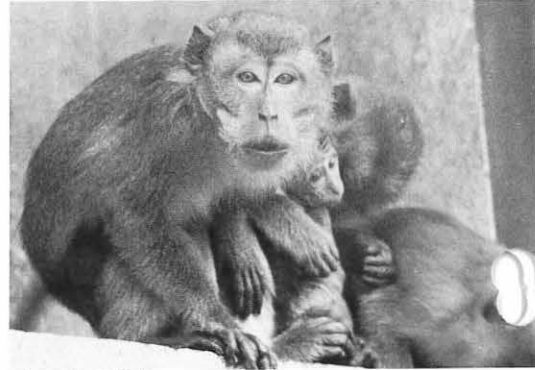
ムーアモンキー

セレベス島とその付近の島々に住むサルで全身が黒くたくましいサルです。左の2頭はクロザルとの間にできた雑種です。

## “サルアパートのサルたち”

猿年1980年もはや2月になりましたが、猿年にちなんで、愛嬌があつてとても人気のあるサルアパートの住人を紹介します。

(撮影：榊原安昭)



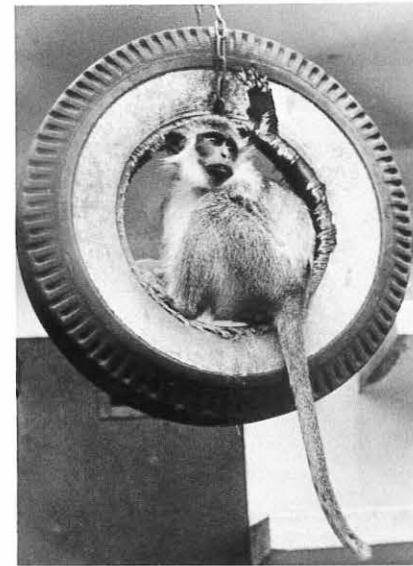
カニクイザル

東南アジアに分布するサルで、日本へも多数輸入され、ペットとして広く飼われています。



ケナガクモザル

南アメリカの4種のクモザルのうちで最も珍しいのがこのサルです。額の白斑は特徴的です。



サバンナモンキー

サハラ砂漠以南のアフリカに分布しています。うす緑色のベルベット状の短い毛をしているところから、ミドリザルやベルベットモンキーという別名もあります。



マントヒヒ

アフリカ北西部に住むヒヒで、雄には白っぽいタテガミ状の長い毛があります。雌はタテガミもなく、身も小さくかつ色をしています。



マンドリル

アフリカ西部のサルで、鼻の両側には赤と青のあざやかな数条の隆起のある奇怪な顔つきをしています。

## 12・1月の動物園日記

- 12 / 17. ホッキョクグマのチビが下痢をしたので投薬をしました。  
カモシカ園の池のヘドロ搬出が完了しました。
20. 11月25日に生まれたジャッカルの子3頭が全部母親に咬まれて死亡しました。
21. 七面鳥の飛膜除去術を行ないました。  
緬羊のメリーおばさんが、右眼を負傷したので治療をしています。
23. ワシミミズクが2卵目を産卵しました。

24. ライオンのタケオの左後肢骨折の再縫合手術を行ないました。
25. シロカケイが肺炎で死亡しました。
27. サイが交尾しました。  
カリフォルニアアシカの流産胎子が池掃除で発見されました。  
11月22日に誕生したトラの赤ちゃん4頭が母親に食べられてしまいました。
31. ワシミミズクが3卵目を産卵しました。
- 1 / 3. チャイロカケイが肝破裂で死亡しました。
5. ボアが食欲不振なので注射を始めました。  
リスザルのフーちゃんが頭部を負傷しまし

- た。
- アオカケイに駆虫薬を投薬しました。
9. ブタが軟便をしているので投薬をしました。  
コヨーテが交尾しました。  
コミミズクの保護がありました。  
フタコブラクダのサクラが流産しました。  
流産胎児は250日令と推定されます。
15. アグーチが流産したので、入院させて治療をしました。
16. ジャングルキャットに4頭の赤ちゃんが生まれたのですが、生後まもなく死亡しました。

- カバの水温を本日より16~19℃に下げました。
18. クロエリハクチョウが1卵産卵しました。
21. グラントシマウマのキャンデイを以前からいた2頭と放飼場で同居させましたが経過が良好なので安心して居ます。
22. ピューマの子2頭が出園し、ハナジロケノン4頭が入園しました。
23. メガネカイマンの寄贈があり、早速同居させました。  
ワートホッグが起立不能になり、虚脱状態に陥ったので点滴をしました。

# 北米のZOOを駆けめぐって

## ④ブロンクス動物園、メトロトロント動物園

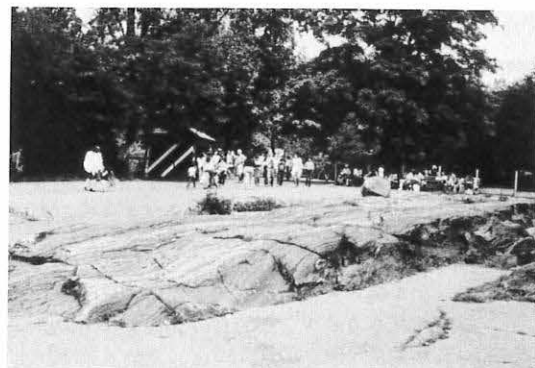


大ブロンクス名物、「鳥の世界」館

### § ブロンクスへ

8月15日、朝早くワシントンを出発し、ニューヨークへ。レンタカーを借りて、ブロンクス動物園へ向いました。ブロンクスという所はニューヨークの下町で、ニューヨークの中でも最も治安の悪い無法地帯のひとつに数えられています。スラム街の中で信号待ちをしていると、たむろしている2、3人の人相の悪い黒人達がこっちをチラチラと見ながらささやき合っています。いまにもピストルを乱射しながら駆け寄って来るような気がして、どうも落ち着きませんでした。

午前11時、動物園に着きすぐ動物病院へ行きました。



園路に顔を出した岩床

た。病院への途中の曲り角で走って来る2頭のインドゾウと鉢合せ。慌てて脇へ飛びのいたのですが、よく見ると手カギを持ったキーパーがちゃんといっていました。どうやら朝の運動のようでしたが、園内を走るゾウには少しばかり驚きました。

動物病院ではドーレンスク先生にお会いしました。長身にヒゲモジャのドーレンスク先生は一昨年出版された「動物園のお医者さん」のモデル。ニューヨークではちょっとした有名人です。私は何度もこの本を読んでいましたので、初めて先生にお会いした時、何だか初対面ではないような錯覚がしました。

### § 石の動物園

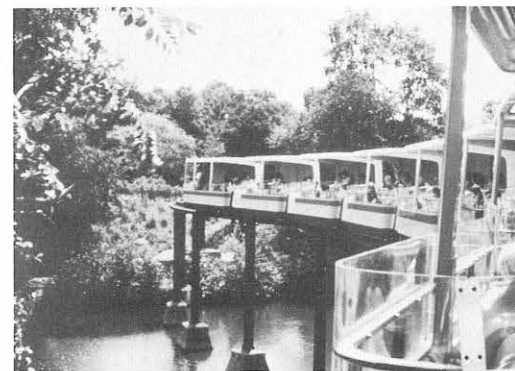
素晴らしい病院を案内していただいた後、先生は会議があるらしく、園内の案内にはバーグマンさんを紹介してくれました。バーグマンさんは勤続実に35年の大ヴェテランキーパーです。人の好きそうな赤ら顔と禿げあがった顔、それに頭とは不釣り合いなヘアブラシのような口ヒゲが印象的でした。私が「女優のイングリッド・バーグマンと同じ綴りですね。」と、言うと、すかさず、ウィンクしながら「彼女はボクの妹だよ」と、本人が聞いたなら腰を抜かしそうな



自然の岩床を利用したヒグマ舎

事を言いました。

バーグマンさんの肩書は哺乳類のスーパーバイザー。哺乳類のキーパー達の総元締といった役職で、部下が45人もいるそうです。年齢からいうと日本ではもう定年退職ですが、ここは65才が定年だそうで日本は55才だ、と言うと、「それだと、これからという時にもう退職じゃないか」と驚いていました。バーグマンさんはまずブロンクス御自慢のニヤラ



アジア園を走るベンガルエクスプレス

舎へ連れて行ってくれました。ニヤラというのは、アフリカに住むレイヨウの仲間ですが、このニヤラ舎は大ブロンクス動物園の中でも最も有名な動物舎の一つです。と、言いますのは数千㎡もあるニヤラの放飼場の後には空濠を隔ててライオンの放飼場があります。そしてこの空濠が全く見えないように工夫されているのでまるでニヤラとライオンがアフリカの原野そのままにひとつの放飼場で飼われているかのように見えるのです。何度も写真で見、憧れていた古典的名動物舎を実際に見ることが出来、大変うれしく思いました。

ニューヨークは雲を突く摩天楼で有名ですが、これは地盤が大岩床であるため、このような高い建物

も安全に建てられるそうです。この動物園の下も岩床があるそうで、その一部が園内のいたる所で露出しています。また、動物舎の中でも自然な形で残され、大変重厚な落ち着いたイメージを与えてくれます。この前日訪れたワシントンの動物園を私は「水



粹な従業員食堂

と緑の動物園」と評しましたが、このブロンクスでは「石と緑の動物園」という印象を強く受けました。

アリ塚のあるオオアクリク舎や20haもあるアジア園をベンガルエクスプレスというモノレールに乗って見物したりするうち、お昼を過ぎてしまいました。高級レストランのようなシャレた従業員食堂でお昼を御馳走になった後、バーグマンさんはウォルツさんを紹介してくれました。ウォルツさんは鳥類のスーパーバイザーです。



ビルの中のうっそうとしたジャングル

### § 眼を見はる鳥類舎

バーグマンさんと別れ、ウォルツさんはまず、1972年に出来たもうひとつのブロンクス名物、「鳥の世界」館に連れていってくれました。この鳥舎は側面には窓が無く、そのかわり天井が全て天窓になっているビルディングです。ビルの中ではありますが天窓からの光と人工光線がサンサンと降りそそぎ、

アカク  
イン  
にも  
この

ムー  
セレ  
くた  
にで

12  
12/1

胸高直径が1m近くもある大木が生え、落差が7、8mもありそうな滝まであります。この中に様々な部屋が作られ、ある部屋ではジャングルを模してシダやツタがうっそうと生い茂り、またある部屋には清らかなせせらぎが流れています。そんな中で南米のジャノメドリが木の上で土と木の枝でできた特有の巣を作り抱卵している姿を見た時は少なからず感動しました。完全な人工化でここまで自然を再現しているのです。

セカセカと泳ぎ廻るヒナをいっぱい連れたナンキンオシ夫婦を見たり、自分達より体の大きくなったヒナの世話を焼いているオオサイチョウ夫婦を見たりして、次は水鳥舎へ。ここもやはりビルディングです。日本では飼育がむずかしくあまり飼われていないシギやチドリを入れている部屋を見せてもらいました。浜辺を

模して作ったこの部屋には餌を入れてある餌箱が見当りません。鳥達は落ちてくる貝ガラや岩の下を自然の状態さながらについばんでいます。ウォルツさんに聞いてみるとエサは岩の下や貝



清潔な調理場

ガラの中に入れていたりとか。どおりで鳥達がつつくはずですが、しかし、木の箱やプラスチックのケースといった無粋なものを用いなくて自然の貝ガラを餌入れに利用するという心にくいばかりの演出にはうれしくなりました。

次の目的地、トロントへ行く都合で4時には動物園を出るつもりだったのですが、バーグマンさんやウォルツさんの熱心な案内で予定は1時間程延びてしまいました。しかし、この2人のおかげで半日という短い時間にもかかわらず、この大ブロンクス動物園は私にとって一生忘れることのできない素晴らしい動物園になりました。

§ カナダへ

ニューヨークを飛び立ちカナダのトロントへ。ニューヨークは暑くてTシャツ1枚だったのですが、トロントに着くや、百年振りとかの寒さ。真夏というのに実に14℃。そこへ持ってきて、年に1度の市をあげてのカーニバルが明日から開かれるとかで総てのホテルは満員、総てのレンタカーは予約済。絶望的だったのですが、メトロトロント動物園のレイブリー先生のコネで何とかホテルにたどり着きました。

§ 示唆にあふれたメトロトロント動物園

翌朝、わざわざホテルまで迎えに来てくれたレイブリー先生の車でメトロトロント動物園へ。

この動物園は1974年に開園した、まだ5年目の新しい動物園です。しかし、広さは283haと天王寺の28倍。広大な国土を持つカナダならではの。

動物病院で一休みしてから調理室を見せてもらい



北米館のシンボルマーク

ました。丁度飼料担当の女性がエサを配っているところでした。この動物園の特徴のひとつとしてスイスのパーゼル動物園方式の人工飼料の給与があげられると思います。例えばサル類などエサの半分は天王寺と同じようにニンジンやバナナを与えていますが、残りの半分は人工飼料です。人工飼料といっても日本でもよく使われるペレット状のものではなく、ちょうどカステラのような感じのもです。また、野菜と併用して使っているモヤシの一種も初めて見たものでした。これは調理室の隣の10坪位の栽培室で水栽培されています。豆を植えた棚が壁に沿って何段にも積まれていて部屋の中は高温多湿に保たれ、紫外線ランプが点灯されています。豆はすぐ発芽し、約1週間で背丈約20cmの青々とした食べ頃の草になるそうです。カステラ人工飼料同様これも非常に嗜好



メトロトロント動物園のシンボルマーク

性が良く、栄養バランスも良いのでサル類の繁殖は順調とのことでした。

園内に出ました。ここトロントは冬の寒さが厳しい為、殆んど動物が屋外で飼えず、大きなパビリオンの中で飼育されています。そして、このパビリオンは典型的な動物地理学的展示法をとっています。つまり東南アジア館では、オランウータンやサイチョウといった東南アジアに分布する哺乳類や鳥類が集められているという具合です。北米館やアフリカ館も同様です。ビックリするような珍獣こそいませんがそれぞれの動物がしっかりと管理された各パビリオンで大切に飼われているという印象を受けました。



北米館にあったビーバーの巣

園内にある食堂は日本でもおなじみのハンバーガーショップ、マクドナルド。独占ですから、開園以来この5年間で実に11億円もの利益を得ているそうです。しかし、その利益の一部で新しいパビリオンを園に寄付してくれてもいるそうです。また、ここで飲食物を買ってもストローなどビニール製品はつけてくれません。売場には「ビニール製品は後の処分が難しい上、もし動物舎に入った場合、動物の健

康を害しますから一切つけません。」と言った意味の表示がありました。ビニール公害で悩まされている私達はマクドナルドのこの配慮を大変うらやましく思いました。

夕方になってお土産を買いにギフトショップに行き、そこで大変興味深いものを見つけました。茶色の土のようなものが1kgづつビニール袋に入れられて売られています。表には「ZOOPOO」と書かれていました。幼児語で「動物園のウンチ」とでも訳すのでしょうか。これは動物達の糞を加工したもので家庭園芸の肥料として売られているのです。大変評判が良く、売れ行きも上々とか。日本の都市動物園ではどこの園でも多かれ少なかれこの糞の処理に頭を悩まし、殆んど園が高い費用を費して処分しています。このZOOPOOは日本でも考えてみたい大変示唆的な処理法だと思いました。



見送りに出てきたカナダガン

閉園時間を過ぎ、園内のお客さん達も殆んどなくなりました。するとどこからともなくカナダガンが10羽、20羽と出てきて園内を歩き始めました。放飼いかと思っていたら野生のものだそうで園内をめぐらして、毎日閉園時間を過ぎ、人波が消えると数百羽も帰ってくるそうです。野生の鳥が住みつく動物園。これは私が考えている理想の動物園のひとつです。それを実現しているメトロトロント動物園を大変うらやましく思いました。

夕闇が迫ってきた北の動物園をカナダガンに見送られて出たのは7時過ぎでした。

(飼育課 獣医師：長瀬 健二郎)

サルの病気——人猿共通伝染病——

今年のエトはサル……ペットとして、実験用として、いろいろな面で人間とはつながりの深い動物ですが、同じ霊長目に属する近縁な間柄だけに、サルと人との共通の病気もかなりたくさんあります。その中には治療法もまだ分らず、極めて致死率の高い病気もあります。日本には年間1〜2万頭ものサルが輸入されていますが、大半は家庭で飼われるペット用のようです。家庭では我が子同然のようにして飼われる方もおり、もしそのサルが人間に感染の恐れのある病気をもっているなら、特に一見健康そうにみえて不顕性感染をしている場合、ウィルスや菌をあちこちにばらまく恐れがあるため非常に危険なわけです。人と動物の共通な病気というのは現在 200ほどあるといわれていますが、今回はその内、特に人とサルとが相互に感染する恐れのある病気について述べてみましょう。

§ ウィルス性疾患

◎ Bウィルス病

1932年、サルに咬まれたことによってあるウィルス性疾患が発生しました。ヘルペスウィルスの一種、Bウィルスによるものと判明しましたが、サルでは口腔粘膜や唇に水疱ができる程度ですが、人に感染すると適切な治療法がなく、中枢神経症状を呈し、致死率の高い病気と恐れられています。

◎ マールブルグ病

1967年、アフリカ産のミドリザルがヨーロッパへ

輸送された際、そのサルと接触した人が次々と発症し7人も死亡するということが起きました。病原体はウィルスと判明しましたが、どのようにして感染するのかわからず、治療法も不明で、人では重度の衰弱や黄疸などの症状をだし、致死率の高い病気です。



ミドリザル

以上の2つの病気は日本での発生例はなく、世界でもごくわずかですが、致死率も高く適切な治療法もないだけに恐い病気といえるでしょう。ウィルス性疾患としては他にモンキーポックスや脊髓灰白質炎（ポリオ）などがあります。

§ 細菌性疾患

◎ 赤痢

赤痢には細菌性とアメーバ性の2種類があり、アメーバ性赤痢は現在では発生は少なくなってきているものの、細菌性より治りにくいという違いがあります。サル類の赤痢菌の保菌率が高いことは以前から知られていたことですが、1974年に輸入したのべ

ットのサルから人に赤痢が感染するという事件が関東地方を中心に全国各地で次々に起こり、大きな社会問題になりました。赤痢は水様性、粘血性の下痢が特徴で、東南アジアやアフリカ、南アメリカなどの現地から輸入されるサルの赤痢菌保菌率は一時10%をこえたという報告もありました。最近では検疫が厳しくなったのか、赤痢騒動も聞かなくなりましたが、輸入したてのサルには特に注意が必要でしょう。

◎ 結核

サル類は結核に感染しやすい動物で、人間の結核症が多かった頃はサルの結核も多かったようで、人の方の減少と共にサルの方も減ってきたようです。人では慢性経過をたどる場合が多いのですが、サルでは病気の進行は早く、単なるカゼの症状と楽観していると、とり返しのつかない場合もあります。

赤痢も結核も治療には日数を要するものの有効な薬剤があります。その他の細菌性疾患としては類鼻疽ぐらいでしょう。

§ 寄生虫性疾患

サルから人に感染する寄生虫としては、腸結節虫、糞線虫、鞭虫、バランチジウムなどがありますが、輸入されるサルの大半はなんらかの寄生虫を有しており、サル自身はその寄生虫による障害が少ないのに、いざ人に感染すると下痢や貧血など、サル以上に症状をだす場合があるので注意が必要です。

以上述べた以外にも真菌性の疾患（アスペルギルス、クリプトコッカスなど）や原虫性のもの（マラリア）などいろいろあります。人に近い動物だけにその共通の伝染病も多いわけで、医学、獣医学の進歩に伴ってまだまだ恐い病気が発見されることでしょう。サルに限らず、ペットとして飼われる動物の輸入時の検疫強化が一層望まれます。

（飼育課：宮下 実）

§ ワシミミズク産卵

暮も押しつまった昨年の12月20日、ワシミミズクが産卵しました。その後、23日、31日と産卵が続き3卵が確認されています。



このペアは一昨年に1回、昨年にも2回繁殖に成功しています。フ化予定日は1月の20日すぎですから、この号が出るころには白い綿毛に包まれた可愛いヒナをご覧いただけると思います。

§ コミミズク保護

1月10日、小形のミミズク、コミミズクが1羽保護されてきました。この鳥は冬鳥として日本に渡ってきますが、ミミズクのくせに昼間も活動するちょ

ているオモチャの動物園長、吉田平七郎さんです。展示館の前で出品されたオモチャの一つ一つを熱心に説明して下さる吉田先生のお話しに、出席したボランティアの人達は引き込まれ、一心に聞き入っていました。

§ 新一時収容舎完成

最近目立って老朽化が進み、建て替えが望まれていた旧一時収容舎に替って、1月21日新一時収容舎が完成しました。そこで、旧一時収容舎の住人リスザルや、ミーアカット、それに獣医室で飼われてい



たサル達の引越しが行われました。新一時収容所に移された動物達は環境の変化に少し戸惑い気味でし

# くらしを彩るショッピング

◎ 近鉄百貨店

アベノ店 (06) 624-1111・上本町店 (06) 779-1231  
東京近鉄 (0422) 21-3331

・近鉄百貨店グループ  
大阪(アベノ・上本町)・東大阪・奈良・京都・岐阜  
枚方・四日市・和歌山・徳山・別府・東京(吉祥寺)

サルの病気——人猿共通伝染病——

今年のエトはサル……ペットとして、実験用として、いろいろな面で人間とはつながりの深い動物ですが、同じ霊長目に属する近縁な間柄だけに、サルと人との共通の病気もかなりたくさんあります。その中には治療法もまだ分らず、極めて致死率の高い病気もあります。日本には年間1〜2万頭ものサルが輸入されていますが、大半は家庭で飼われるペット用のようです。家庭では我が子同然のようにして飼われる方もおり、もしそのサルが人間に感染の恐れのある病気をもっているなら、特に一見健康そうにみえて不顕性感染をしている場合、ウィルスや菌をあちこちにばらまく恐れがあるため非常に危険なわけです。人と動物の共通な病気というのは現在 200ほどあるといわれていますが、今回はその内、特に人とサルとが相互に感染する恐れのある病気について述べてみましょう。

§ ウィルス性疾患

◎Bウィルス病

1932年、サルに咬まれたことによってあるウィルス性疾患が発生しました。ヘルペスウィルスの一種、Bウィルスによるものと判明しましたが、サルでは口腔粘膜や唇に水疱ができる程度ですが、人に感染すると適切な治療法がなく、中枢神経症状を呈し、致死率の高い病気と恐れられています。

◎マールブルグ病

1967年、アフリカ産のミドリザルがヨーロッパへ輸送された際、そのサルと接触した人が次々と発症し7人も死亡すると



ットのサルから人に赤痢が感染するという事件が関東地方を中心に全国各地で次々に起こり、大きな社会問題になりました。赤痢は水様性、粘血性の下痢が特徴で、東南アジアやアフリカ、南アメリカなどの現地から輸入されるサルの赤痢菌保菌率は一時10%をこえたという報告もありました。最近では検査が厳しくなったのか、赤痢騒動も聞かなくなりましたが、輸入したてのサルには特に注意が必要でしょう。

◎結核

サル類は結核に感染しやすい動物で、人間の結核症が多かった頃はサルの結核も多かったようで、人の方の減少と共にサルの方も減ってきたようです。人では慢性経過をたどる場合が多いのですが、サル

§ ワシミミズク産卵

暮も押しつまった昨年の12月20日、ワシミミズクが産卵しました。その後、23日、31日と産卵が続き3卵が確認されています。



このペアは一昨年に1回、昨年にも2回繁殖に成功しています。フ化予定日は1月の20日すぎですから、この号が出るころには白い綿毛に包まれた可愛いヒナをご覧いただけると思います。

§ コミミズク保護

1月10日、小形のミミズク、コミミズクが1羽保護されてきました。この鳥は冬鳥として日本に渡ってきますが、ミミズクのくせに昼間も活動するちょっと変わった鳥です。



今回保護されたコミミズクは生駒山中の河原で翼を痛めて飛ばずにいたのを保護されたものです。持ち込まれて数日は元気が無くて心配したのですが、今は与えたエサもすぐ平らげる位元気が回復しました。

§ 飼育研究会開催

12月26日、定例の飼育研究会が開かれました。本誌にも連載中の長瀬獣医の「北米の動物園を駆けめぐって」がスライドを混え発表されました。

§ ボランティア例会

1月6日、ボランティアの例会が開かれました。講師は1月2日から31日まで北園展示館で開催中の「エトにちなむオモチャ展」のオモチャを出品され

ているオモチャの動物園長、吉田平七郎さんです。展示館の前で出品されたオモチャの一つ一つを熱心に説明して下さる吉田先生のお話しに、出席したボランティアの人達は引き込まれ、一心に聞き入っていました。

§ 新一時収容舎完成

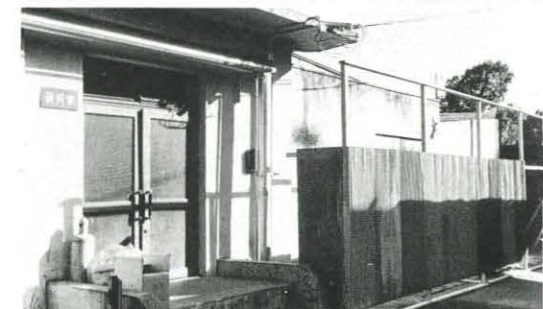
最近目立って老朽化が進み、建て替えが望まれていた旧一時収容舎に替って、1月21日新一時収容舎が完成しました。そこで、旧一時収容舎の住人リスザルや、ミーアカット、それに獣医室で飼われてい



たサル達の引越しが行われました。新一時収容所に移された動物達は環境の変化に少し戸惑い気味でしたが、すぐに広く暖い動物舎になれることでしょう。

§ 新動物病院改築工事始る。

一時収容舎と同様手狭になり改築が望まれていた動物病院ですが、この改築工事が一月中旬始まりました。



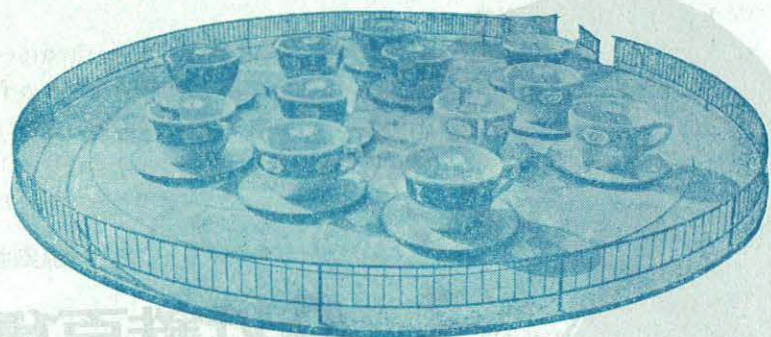
完成は5月末です。工事中何かと御迷惑をおかけするかも知れませんが、よろしく御協力をお願い致します。

⊕休園日のお知らせ⊕

毎月第3月曜日は休園日です。5月までの休園日は下記の通りです。

2月18日、3月17日、4月21日、5月19日。  
開園時間は9時半から4時半までで、4時に切符売止めになります。

遊園施設委託経営・製作・販売



久竹娛樂株式会社

本社工場 大阪市西区北堀江1丁目23番21号  
電話 大阪(06)541-3112・3938 番

なきごえ 昭和55年2月15日発行(毎月1回15日発行)

編集/大阪市天王寺動物園

発行人/大阪市天王寺動物園協会 和田辰巳

印刷所/株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共)

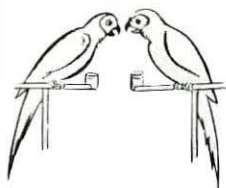
第16巻第2号(通巻174号)

〒543 大阪市天王寺区玉水町2

電話 大阪 (06)771-0201

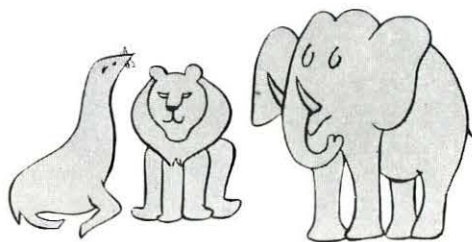
振替口座 大阪 37823

1年継続(12部)1,100円(送料共)



## 鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達



- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円

## 有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話(078)221-8195・221-1517  
 飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話(078)241-3494



自然の  
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はいっさい含まれていません。



# 雪印ヨーグル

各130cc.=90円

パイン・オレンジ・ストロベリー・フルーツカクテル

編集委員

板野 健一・前木 妙子・大野 尊信・榊原 安昭・樽本 勲・土井 良彦・高橋 真三・農本 武志  
 石島 宏胤・野口 秀高・宮下 実・橋本 一郎・長瀬健二郎・三浦 正明・葭谷 文彦・仲谷 登